



総務課 事務職員
庭本 啓都（平成27年度採用）

★現在の仕事

私は伊賀市に関わる統計に関する事務を主に担当しており、今年には経済センサス - 活動調査という、国内の事業所及び企業の経済活動の状態を明らかにするための統計調査の取りまとめを担当しています。

統計調査において、様々な業務がありますが、中でも実際に調査票を配布し、回収を行う調査員との連携は非常に重要です。調査の手順について判らないこと、困ったことがあれば気軽に相談できるようにすることで、調査の精度も上がり、トラブルを抑制することに繋がります。

時には大変な事もありますが、調査員の方々を始めとする様々な人との関わりの中で成長できる仕事であると感じています。

★伊賀市職員になって感じたこと

採用される前は学習塾で働いていましたが、学習塾に通っている子供達だけではなく、より多くの子供達、また保護者や地域の方々の方々の力になることで、子供達の将来に関わりたいと思い、市職員を志望しました。

この業務を始めて間もない頃は、自分のやりたいこととあまり関わりが感じられませんでした。しかし、自分が公開した人口統計のデータが、他の部署での事業計画の資料に使用されているのを見て、初めて自分の仕事が伊賀市の為に必要なのだと強く感じる事が出来ました。

★未来の後輩へメッセージ

市役所は様々な伊賀市の方々との出会いを通じて、日々勉強し、成長することが出来る環境です。市の業務は多岐に渡りますが、どんな業務もそこだけで完結するものではなく、他の業務と関わり合っています。このことから地域、職場内を問わず人との関わりが深い職場ですし、分からないこと、悩んでいることがあれば必ず力になってくれる人たちがばかりです。

伊賀市のこれからを担う第一線で、共に頑張りましょう！一緒に仕事ができる日を楽しみにしています！



スポーツ振興課 事務職員
井上 杏梨（平成27年度採用）

★現在の仕事

現在、私はスポーツ振興課に所属しています。

スポーツ振興課では、スポーツ大会の準備・運営、スポーツ団体に係る事務、体育施設の維持管理、また、2021年に開催される『三重とこわか国体』に向けての準備などが主な業務となっています。

私は主に、予算関係・各機関への支払い関係などの庶務や、全国大会に出場される選手の市長表敬訪問などを担当しています。今年で2年目ですが、まだまだ知らないことがたくさんあり、日々勉強しながら仕事をしています。

★伊賀市職員になって感じたこと

以前は民間企業で働いていましたが、生まれ育った伊賀市の力になりたい、市民の方と関わりたいと思い、市職員になりました。現在の職場では、子どもから大人まで幅広い年齢層の方と関わる機会があり、たくさんの刺激を受けます。

市民の方から直接、意見を聞かせていただくことも多く、市職員として市民の方に寄り添うことはもちろん、一市民としての目線で物事を考えることが大切であり、常にそうあるよう心がけています。

★未来の後輩へメッセージ

市役所には、市民の方の生活を支えるさまざまな分野の業務があります。毎日新たな課題や、なすべきことに出会い自分自身も成長できる職場だと思います。

また、周りには親切で尊敬のできる上司や先輩、仲間がたくさんいます。そういった環境の面でも充実した職場であると思います。伊賀市の職員として、一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。





農林振興課 事務職員
平岡 有衣子（平成27年度採用）

★現在の仕事

農林振興課の仕事は様々ですが、私は「伊賀市人・農地プラン」の作成推進や課の庶務等を担当しています。「人・農地プラン」は、地域が抱える後継者不足や耕作放棄地などの問題について地域で話し合い、今後の地域農業のあり方についてとりまとめた「未来の設計図」のことです。プラン作成推進のため、各支所単位での説明会の実施、また説明会の希望のあった地区へ関係機関の方と出向いたりしています。

★伊賀市職員になって感じたこと

地域に密着した仕事がしたいと思い、伊賀市を受験しました。市の業務内容は部署により本当に様々です。私は今年で2年目ですが、今まで農業に係ったことがなく最初は右も左もわからない状態でしたが、上司や先輩、農家の方に教わりながら少しずつできること、知識が増えてきました。一口に農業といっても作る作物、地域によって様々な形態があります。同じ伊賀市でも地域によって全く違うことに驚きました。

今後も農業、農政のこと、各地域の特色等を学び、地域や市民の皆さんのために役立てるように業務に励みたいと思います。

★未来の後輩へメッセージ

市職員の仕事は本当に様々です。私は市職員にならなかつたら農業とは一生関わりがなかったかもしれません。知らない分野の仕事をするのは大変ですが、とてもやりがいのあることだと思います。幅広い分野を経験でき、自分自身の成長にも繋がります。そして、どの仕事も形は様々ですが伊賀市の発展に貢献しています。

市職員として、市民として、伊賀市をより良い市にしていきたいため、力をあわせて頑張りましょう。皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。



都市計画課 技術職員（土木）
西澤 昂良（平成26年度採用）

★現在の仕事

私は主に建築工事における都市計画法の許可に関する事務をしています。設計者の話しをよく聞き、法律に基づいた適正な土地利用となるよう指導をします。

窓口業務及び相談業務が多いですが、実際に現場に出て検査を行い土地の状況を確認することもあります。また、「伊賀市景観計画」によって町並みの形成を推進しています。市民、業者の方と色彩や形状について協議し、城下町景観や自然景観の保全を行っています。市民が暮らしやすく美しい町と思えるようなまちづくりに取り組むのが現在の仕事です。

★伊賀市職員になって感じたこと

土木技術職ということで、市民や業者の方と接することが多いです。専門性が高い仕事でもあるため、日々勉強することばかりです。市民の方からの要望を直接聞くことも多く、要望に応えられないことも多々あります。

市民の方の要望を的確に把握しつつも、法令及び技術基準を遵守しなければなりません。そのため、市民の方に対する説明は相手の立場に立ち丁寧に行うことを心がけています。

★未来の後輩へメッセージ

市役所の仕事は全て市民のためになるものだと思います。それだけに仕事に責任がでてきますし、やりがいを感じます。私も先輩職員の方に助けてもらいながら業務に取り組んできましたし、貴重な経験をさせていただきました。市役所の仕事は多岐にわたるため様々な知識及び経験が必要となると思います。

今までに培った知識や経験を活かし、一緒によりよいまちづくりができることを楽しみにしています。





地域包括支援センター 社会福祉士
中山 晴香（平成28年度採用）

★現在の仕事

社会福祉士として、市民の方からの様々な相談を受け止め、適切な機関・制度・サービスにつなぎ、継続的に支援するのが私の仕事です。

窓口や電話で相談を受け、必要に応じ訪問し、不安な事、困っている事を聞かせてもらいます。内容に応じ他機関と連携し問題の解決にあたります。

社会福祉士以外にも保健師、主任ケアマネジャーがいるので、一人で抱え込まず、相談、共有しながら支援にあたっています。

★伊賀市職員になって感じたこと

福祉サービスや制度、伊賀市にある社会資源をまだ十分に把握できておらず、市民の方からの相談を受ける際には、先輩職員等に教えてもらいながら支援にあたっています。その為、問題解決までに時間がかかっており、知識を習得し経験を積むことが必要であると感じています。

また、分かりやすく説明することの難しさを感じることがありますが、相手の表情が和らいだり、「ありがとう」と言ってくれたら嬉しくなり、力にもなります。

★未来の後輩へメッセージ

市職員として働く中で多くの方と出会い、多くの発見や気づきをいただいています。そのことは、自分自身の成長につながります。

時代や環境が変化する中で、市民の抱える問題も多様化しています。とても難しい仕事ですが、一方でとてもやりがいのある仕事です。伊賀市の職員として、一緒に仕事ができることを楽しみにしています。



佐那具保育所 保育士
喜多 愛（平成26年度採用）

★現在の仕事

子どもと1日を共に過ごすのはもちろん、日々の保育の準備や自らの資質向上のための研修などにも参加します。保護者の方から大切な命をお預かりしているので、危険がないよう細心の注意をしながら保育しています。様々な遊びや、日々の生活の中で子どもたちが学び、楽しみながら成長していけるよう関わっています。

また、子どもたちだけでなく家庭とのつながりも大切にし、子育ての相談に乗ったり、話し合ったりしながら家庭と一緒に子どもを育てていこうという気持ちで保育しています。

★伊賀市職員になって感じたこと

夢だった保育士という仕事を、生まれ育った伊賀市でしたいと思い就職しました。就職してから、今まで住んでいながらも知らなかった伊賀の魅力に気づくことができました。

保育所の周りを散歩していると地域の人と出会います。「こんにちは」「いい天気やねえ」と自然に始まる会話に、子どもたちはあたたかい地域の方に囲まれて育っていると感じます。

★未来の後輩へメッセージ

保育士という仕事は、体力も必要だし大変なことももちろんあります。しかし、毎日自然に笑顔になれる素敵な仕事です。子どもとのかかわりに悩むこともありますが、毎日その子どもに癒され元気をもらいながら、一緒に成長する喜びを感じています。そして子どもの成長を保護者とともに喜び合う時、この仕事のやりがいを強く感じられると思います。

伊賀市で子どもたちと育ちあいましょう。みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています。





柘植保育園 保育士
前田 剛志（平成28年度採用）

★現在の仕事

登園してきた子どもたちと降園の時間まで1日元気に過ごしています。
今担任をしている4歳児クラスの子供も達はとても活発な子どもが多い為、身体を動かすふれあい遊びや保育園付近を散歩したりなどたくさん身体を動かして楽しんでいます。

自分たちのクラスだけではなかなか出来ないことなどは、他のクラスの子供も達や先生方と協力しながら毎日頑張っています。

★伊賀市職員になって感じたこと

前の職場では他園との繋がりがほとんどありませんでした。しかし、伊賀市職員になったことで、他園との繋がりが多くなり、悩んでいたことなど同じ年齢のクラスを担当している職員の方に相談したり、アドバイスして頂ける環境が出来ました。悩みを打ち明けられることで気持ちも楽になり、また自分自身の考えには無かった保育観など新しく勉強になる事もあるので、日々保育に落とし込みながら頑張っています。

★未来の後輩へメッセージ

保育士の仕事は豊富な知識や体力などを必要とし、たくさんしんどいこともあります。

しかし、それ以上に「この仕事をしていて本当に良かった」と思える事の方が多いと私自身思います。自分が頑張れば頑張った分だけ子ども達は応えてくれますし、応えてくれた時の達成感はいくらもありません。

この感動を味わえるよう、伊賀市の保育士として一緒に頑張っていきましょう！



上野総合市民病院 看護師
奥出 草妙（平成26年度採用）

★現在の仕事

私は6階の消化器外科・内科病棟に勤務しています。主に消化器疾患の患者様が入院されており、内視鏡などの内科的治療を受けられる患者様や、手術を受けられる患者様の術前・術後の看護を行っています。

“地域の中核病院として、患者様に安心・安全な看護を提供できる”を病棟目標にし、日々取り組んでいます。

★伊賀市職員になって感じたこと

私は家族や大切な人達に何かあった時に対応できる力を身につけたいという思いで看護師を目指しました。生まれも育ちも伊賀なので、身につけた力をここで生かしていきたいと思い伊賀市に就職しました。

人が生きていくうえで必要且つ、楽しみでもある“食べる”というに関わる消化器疾患を持つ患者様に対して、自分は何ができるのかと悩むこともあります。病棟スタッフの皆で患者様・ご家族に寄り添った看護を目指していきたいと感じています。

★未来の後輩へメッセージ

私は看護師1年目から市民病院で働いていますが、“教育体制”が充実しており、何より病棟の先輩方が優しく丁寧に指導して下さいましたのがとても嬉しかったです。

毎日忙しい中でも皆で協力し、より良い看護を目指して実践している先輩方がいる病棟はとても心地よくて、私も頑張ろうと思えます。

一緒に“手で触れて、みて、考える看護の実践”を行っていきましょう！





中消防署 消防士
近藤 香（平成26年度採用）

★現在の仕事

現在、中消防署で24時間交代勤務をしています。業務内容として、火災発生時に消火活動を行う「消火」、怪我を負った人や急病人に対して救命処置を行い医療機関へ搬送する「救急」、火災が起こらないよう調査・啓発を行う「予防」が主な任務となります。

その他、市民の方々への応急手当の講習や消火器を使用した初期消火訓練指導、現場を想定した訓練など幅広い業務を担っています。

★伊賀市職員になって感じたこと

伊賀市に採用され消防職員として勤務する中で私が言えるのは毎勤務が勉強であるということ。消防の業務は幅広く、また似たようなものはあっても、「同じ現場」は存在せず、状況が秒刻みで変化します。その中で「何が最善なのか」「この人の為に何ができるのか」を考えなければなりません。

私達は火災や救急を何度も経験していますが、市民の方には一生に一度あるかないか……。その時の為に日々知識や技術を磨かなければならないと感じました。

★未来の後輩へメッセージ

消防の業務は「危険な現場に身体を張って乗り込む」という事。その達成感以外の職業では、そう簡単には感じることができないのではないのでしょうか。それはやりがいに繋がり、私はこの仕事が採用時よりも好きです。「好きこそもの上手なれ」。「上手」にならなくとも、その気持ちが成長の糧となるのです。

あなたはどのような消防職員を目指しますか？私は市民一人ひとりの気持ちが理解できる消防職員を目指します。あなたの回答を楽しみにしています。共に目標に向かって邁進しましょう。



東消防署 消防士
徳地 祐治（平成26年度採用）

★現在の仕事

現在、伊賀市東消防署警防係で24時間の交代勤務をしています。火災、救助、救急出動が主な活動ですが、出動がない時には、災害現場を想定した訓練や消火栓、防火水槽の調査、避難訓練等の指導、救命講習など、業務の内容は多岐にわたります。

24時間勤務していますので、たとえ夜中であっても出動指令が来た際にはいち早く体制を整え現場へ駆けつけます。

★伊賀市職員になって感じたこと

準備をしていないと災害現場での活動はできないということです。準備には様々ありますが、必要な資器材はもちろん普段からの訓練や勉強の積み重ねが大事だと感じています。

どんなに年数を重ねた先輩方でも誰に強制されるわけではなく、本を読む、訓練をする、研修会に参加する、道や水利を覚える為に走り込むなど常に災害現場で市民の方のためにいい活動が出来るように準備を怠ることなく取り組んでいます。その姿勢を私も見習い努力を重ねていきたいと思います。

★未来の後輩へメッセージ

災害現場に同じ状況はなく、各現場で自分の行動を判断していかなくてはなりません。そのため、学ぶことは無限大にあり、日々勉強と努力が必要です。このことを続けること、自分が成長することの全てが伊賀市の為になると思います。

上手くいくことばかりではありませんが、やり遂げた時の充実感、達成感は大きく、やりがいのある仕事だと思います。私達と共に伊賀市の安全、安心を守りましょう！

